



鰐 建 第 1 7 5 号
平成20年10月10日

国土交通省道路局長 殿

大鰐町長 二川原 和 男



今後の道路行政についての意見・提案の提出について(回答)

平成20年9月19日付国道企第37号で依頼のありました標記について、別紙のとおり回答します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

青森県 大鰐町

地域の特性や事情に配慮した道路整備。

大雨、大雪、地震等の災害に強い道路整備(待避所、ロードヒーティングの整備等)。

通勤、通院、通学等の日常の暮らしを支える生活幹線道路の整備。

少子高齢化に対応した歩行空間のバリアフリー化の整備。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域現状と抱える課題

様式 ②

青森県 大鰐町

○現状

当町は温泉街及び集落内の町道の幅員が極めて狭小なことから、冬期積雪等における通行に支障を来している。

少子化・高齢化が進むなか、道路除雪後の住居出入り口等の雪の排除は、高齢者にとって大きな労働力負担となる。

○課題

冬季バリアフリー空間の確保

・積雪等による冬季車両通行空間の確保

・流雪溝等の整備

冬期間の水不足による流雪等効率低下の解消

・歩道未設置部分及び幅員の狭い箇所の改良

多くの小学生や高齢者等が利用する道路で事故の危険性が高い道路の安心・安全な歩行空間の確保

・細やかな除排雪の確保

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ③

②-2 地域の目指すべき将来像

青森県 大鰐町

近年、財政事情は悪化しており、このため生活道路である市町村道の改良及び維持管理は年々手薄になっており、安全で円滑な交通の確保に支障を来している。

このことから、安全な道路の維持管理のため国庫補助金のかさ上げ等による町財政の負担軽減を望む。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

青森県 大鰐町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・ 少子高齢化に対応した歩行空間のバリアフリー化の整備 ・ 積雪等による冬季車両通行空間の確保	国道7号線に隣接する長峰小学校は比較的住宅密集地に位置し、通学児童が集中する地域となります。 冬期間7号線の車道についての除雪は住民からの苦情は無いものの、歩道については除雪時の雪よせに対し沿線住民による除排雪を行うも、特に小学生や高齢者等が利用するための歩行空間の確保が難しい。 当町は集落ともに密集地が多く町道の幅員が極めて狭小なことから、通行に支障を来している。 冬期間は、自家用車、路線バス、暖房燃料配送車や緊急車両等の道路確保のため、きめ細やかな除排雪が求められる。 また、高齢者等からは段差のない、家の前に雪塊をおいていかない、除雪を特に求められる。	歩道についての除排雪の回数(現在冬期間に数回程度)を増やして歩行者空間の幅員確保を望む。 財政事情の悪化により、道路・交通等の生活基盤の安全確保に支障をきたしている。 このことから、安全な道路維持管理のため国庫補助金の補助項目の拡大や嵩上げなどによる町財政の負担軽減を望む。	